

オリンピック出場おめでとう！ 頑張れ！大元英照選手

本市出身の大元英照選手(ボート競技)が、4月に開催されたりオデジャネイロオリンピック、アジア・オセアニア大陸予選で2位となり、男子軽量級ダブルスカルの日本代表に選ばれました。

大元選手はオリンピック初出場！本市出身者では、畑中みゆきさん(女子モーグル)に次いで2人目です。

6月3日に市役所を表敬訪問し、市長にオリンピック出場を報告しました。オリンピックにかける思いなど、大元さんのインタビュー記事を紹介します。



▲アジア・オセアニア大陸予選2位。写真右が大元選手(写真提供:日本ボート協会)

オリンピック出場が決まった瞬間の気持ちと大会出場の決意

高校のころからの目標だったので、ほっとしています。
世界とはまだ差がありますが、残り2カ月で課題を改善していけば、世界のトップとメダル争いすることも可能だと思っています。
私自身初めてのオリンピックですし、4年に一度の最高の舞台です。積極的なレースをして、決勝に進出し、少しでもいいニュースを届けられるよう頑張ります。
オリンピック出場が決まって、たくさんの方からお祝いや応援メッセージをいただきました。
その期待に応えられるようしっかりと頑張ってきますので、皆さん応援よろしくお願いします。

ボート競技・ダブルスカルとは



(写真提供:大元選手)

ダブルスカル 2人で4本のオールを持つ種目で、漕手2人の息を合わせることが勝負の鍵になります。



わかりん

平成14年、塩釜高校3年生で出場した高知国体で、同校ボート部6選手が入賞。部を代表して大元選手は「世界を目指します」と話していました。その目標を見事実現！



(写真提供:ボート部コーチ 仙台大学 阿部肇さん)

ボートを始めたきっかけは？

高校1年生からボートを始めました。興味もありましたが、高校に入ったたら、「何かを本気でやりたい」と思っていたので、当時全国的にも強かったボート部に入部し、日本一を目指したいという思いがありました。

しおがまっ子たちへのメッセージ

塩竈には自然がたくさんあります。それがきっかけで私もボートを始めました。最初は「目標や夢」はなかったのですが、ボートと出会って、世界を目指すようになりました。
目標に向かって、強い気持ちで臨んでいけば、必ず自分のやりたいことは見つかると思います。仮に、今やりたいことがなかったとしても、いつか必ず出会うと思うので、見つけたら強い気持ちで頑張れば、夢はつかめると思います。

「大元選手が出場する競技日程」 男子軽量級ダブルスカル

予選 8月7日(日) 午後8時30分～

決勝 8月12日(金) 午後8時30分～

※日時はずべて日本時間です

大元英照選手プロフィール

1984年8月12日生まれ(31歳)
塩竈市立第二中学校卒、塩釜高校卒
仙台大学卒、アイリスオーヤマ(株)所属
身長179cm、体重70kg

【過去の主な大会成績】

2014年5月 アジアカップ 優勝
2014年9月 全日本選手権大会 優勝
2014年9月 アジア大会 優勝
2015年9月 和歌山国体 優勝
2015年9月 全日本選手権大会 優勝